

学校を飛び出して、
地元で活躍するオトナを取材しよう！

温かい看護を 提供したい

揖斐厚生病院
看護部長 宗宮知香さん



揖斐厚生病院の看護部は「その人らしさを尊重し、温かい看護を提供する」を理念に地域の人に貢献している病院です。

池田高校を卒業した後、揖斐厚生病院で看護部長として働いている宗宮知香さんに、仕事に対する思いやこだわりを伺いました。

Q…看護師になろうと思った理由を教えてください。

私は事務仕事よりも人と接する仕事に就きたいと考えました。また、1度やめても復帰できるような、免許のある仕事に就きたいと思いました。そう考えていた時に、看護師にそこがれていた親の影響を受け、責任のあるこの仕事を一生懸命やってみようと看護師を選びました。

Q…看護部長になるまでの道のりを教えてください。

池田高校を卒業した後、3年課程の看護専門学校で資格を取り看護師になりました。それからずっとこの揖斐病院で働いています。

看護の仕事だけでなく、委員会など組織を運営させるための役割にも積極的に取り組みました。そして5年の主任経験を経て、1部署を任される師長となりました。それから副部長を務めることになり、2018年の4月から部長です。

Q…看護師と看護部長の違いを教えてください。

まず、看護師と看護部長では役割が違います。看護師は、現場で働くスタッフということで患者さんのケアをしたり、医師の指示を施行したり、新人さんや先輩の指導をするのが役割です。それに対して看護部長は、患者さんと接する現場で働く

Q…家庭と仕事を両立させるためにどんなことをしてきたか教えてください。

子どもが小さい時はコミュニケーションをたくさん取るようにしてきました。また、子育ては「時間じやない、愛情は深さだ」と考えて、家にいる時は子どものことだけを考えるようにしてきました。また、学校の行事はなるべく出るようにして両立させてきました。でも後は、家族の協力があって続けてこられたというのが大きいので、本当に感謝しています。

Q…宗宮さんの夢や今後の目標を教えてください。

目標は、揖斐病院の看護部がもっと地域の人に貢献できるようにすることです。看護部には「私たちはその人らしさを尊重し、温かい看護を提供します」という理念があるので、理念に基づいた看護ができるようにしていきたいです。そのために、その人らしさを尊重した看護とは何か、温かい看護とは何かを考え続けていこうと思います。



Q看護師になりたいと考えている高校生が、今のうちにしておくべきことはありますか。

高校生のみなさんは、今の勉強を頑張ってください。それは、今の勉強が次の学校の選択肢を広げることになるからです。看護学校といってもいろんな大学や短大、専門学校など沢山あります。そこで自分が行きたいと思った学校に行けるように勉強してほしいと思います。また、コミュニケーションを上手くとれるようにしておくのと良いと思います。看護師は他の職種の人や同僚、患者さんなど、たくさんの人と話さなければなりません。だから、今のうちからスマホばかりではなくて、しっかりと顔を見て、沢山のお友達と話してほしいと思います。後は、いろんなことをポジティブにとらえられると良いと思います。なぜならば、ネガティブだとチャンスも来ないし、何をやってもしんどいと思います。働いていく中では辛いこともたくさんあります。それも前向きにとらえ、乗り越えていけば解決できると思います。いろんなことを前向きに挑戦してほしいと思います。

Q…進路に悩んでいる高校生にアドバイスをお願いします。

いろんな情報を収集して、本当に自分がやりたいと思うことを選んでほしいと思います。よく、看護師になった理由を聞くと、親になりなさいと言われたからと答える人がいます。そうすると、何かつらいことがあると親のせいになってしまうことがあります。だからやっぱり、人に言われたからではなくて自分がやりたいと思うことをやるのが1番良いと思います。

Q…今、看護師を目指している人に1番伝えたい

ことは少なく、看護部という組織を動かす仕事をしていきます。スタッフが現場でちゃんと看護ができるように環境を整えたり、他部署のところへ行って連携を取ったり経営について考えたりという、管理職が役割となります。

Q…看護部長としてのやりがいを教えてください。

1番のやりがいは、地域のみなさんが病気になる時に、治療・看護をして元気に家に帰れるようになることです。しかし看護をするのは現場のスタッフです。ですから、私たちが看護しやすい環境を整え、それによって現場のスタッフが良い看護を提供できることがやりがいになっています。



Q…看護師を途中でやめたいと思ったことはありませんか。また、それをどのように乗り越えましたか。

辛いと思うことはたくさんあったけど、看護師を辞めたいと思ったことはないです。というか、私には他の仕事はできないと思います。時々、お友達と冗談で、看護師をやめたら何がやりたいか話す時があります。でも結局、やっぱり私にはこの仕事しかないと思うので、看護師を辞めようとは思わないです。

ことはなんですか。

看護師という仕事は7割、8割辛いことがあります。でもその分、少しの良いことがとても嬉しく感じられると思うのです。患者さんがすごく良くなって「ありがとね」や「あなたのお陰やった」と言われた時はすごく嬉しく思いました。また、仲間や上司、ドクターが努力を認めてくれた時も、頑張った良かった嬉しく思いました。辛いことがある分、嬉しさも倍増する。本当にやりがいのある仕事だと思います。ぜひ、目指してください。



【感想】

宗宮さんの話を聞いて、本当に自分がやりたいと思ったことを、仕事として出来ることはすごく素敵だと思いました。また、仕事をやめたいと思つたことはあるかと聞かれても、はっきり無いと答えることができる宗宮さんはかっこいいと思います。私も大人になったら宗宮さんみたいな自分の仕事に責任と誇りを持てる人になりたいと思います。